

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-511175(P2000-511175A)

【公表日】平成12年8月29日(2000.8.29)

【出願番号】特願平9-542377

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 311/19

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 43/00

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/195

A 6 1 K 31/216

C 0 7 C 311/29

C 0 7 C 311/37

C 0 7 C 311/42

【F I】

C 0 7 C 311/19

A 6 1 K 31/00 6 0 9 F

A 6 1 K 31/00 6 1 9 A

A 6 1 K 31/00 6 4 3 P

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/195

A 6 1 K 31/215 6 0 1

C 0 7 C 311/29

C 0 7 C 311/37

C 0 7 C 311/42

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月22日(2004.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成16年 4 月 22日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

## 1. 事件の表示

平成9年特許願第542377号



## 2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国ニュージャージー州 07950. モーリス  
プレインズ. テイバーロード201

名 称 ワーナー・ランバート・コンパニー

## 3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区麹町一丁目10番地(麹町広洋ビル)

電 話 (3261)2022

氏 名 (9173) 高 木 千 嘉



(外1名)

## 4. 補正命令の日付 (自発)

## 5. 補正対象書類名

請 求 の 範 囲

## 6. 補正対象項目名

請 求 の 範 囲

## 7. 補正の内容

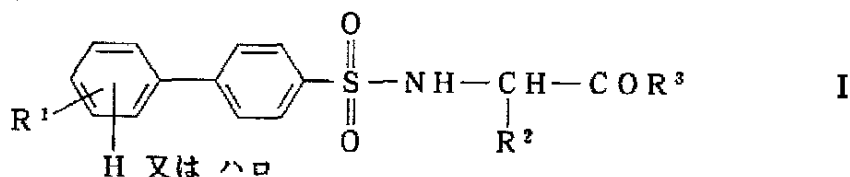
請求の範囲を別紙のとおり補正します。

方 式 審 査



## 請 求 の 範 囲

## 1. 式 I



(式中、 $R^1$  は  $C_1 \sim C_6$  アルキル、ハロ、ニトロ、 $(CH_2)_{0 \sim 4}-NR^4R^5$ 、シアノ、 $OR^4$ 、 $O=CH$ 、 $CF_3$ 、 $O=CNR^4R^5$  および  $COOR^4$  であり、

$R^2$  は水素であるか、または場合によりフェニル、置換されたフェニル、フェノキシ、置換されたフェノキシ、 $NR^4R^5$ 、 $OR^6$ 、カルボキシ、

$$\begin{array}{c} NH \\ || \end{array}$$
 カルボキサミド、 $H_2N-C-HN-$ 、チオ、メチルチオ、インドール、イミダゾールおよびフタルイミドによって置換された  $C_1 \sim C_6$  アルキルであり、

$R^3$  は  $OH$ 、 $OC_1 \sim C_6$  アルキルまたは  $NHOH$  であり、

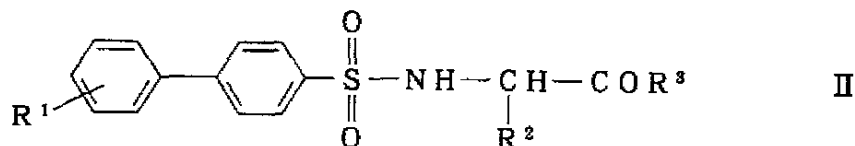
$R^4$  は水素、 $C_1 \sim C_6$  アルキルまたは  $C_1 \sim C_6$  アルカノイルであり、

$R^5$  は水素または  $C_1 \sim C_6$  アルキルであり、そして

$R^6$  は水素、 $C_1 \sim C_6$  アルキル、 $C_1 \sim C_6$  アルカノイル、フェニルまたは置換されたフェニルである)

を有する化合物ならびに医薬上許容しうるその塩および溶媒和物。

## 2. 式



(式中、 $R^1$  は  $C_1 \sim C_6$  アルキル、ハロ、ニトロ、 $NR^4R^5$ 、シアノ、 $OR^4$  および  $COOR^4$  であり、

$R^2$  は場合によりフェニル、置換されたフェニル、 $NR^4R^5$ 、 $OR^6$ 、

NH  
||

カルボキシ、カルボキサミド、 $\text{H}_2\text{N}-\text{C}-\text{HN}-$ 、チオ、メチルチオ、インドール、イミダゾールおよびフタルイミドによって置換された  $\text{C}_1\sim\text{C}_6$  アルキルであり、

$\text{R}^3$  は OH、 $\text{OC}_1\sim\text{C}_6$  アルキルまたは  $\text{NHOH}$  であり、

$\text{R}^4$  は水素、 $\text{C}_1\sim\text{C}_6$  アルキルまたは  $\text{C}_1\sim\text{C}_6$  アルカノイルであり、

$\text{R}^5$  は水素または  $\text{C}_1\sim\text{C}_6$  アルキルであり、そして

$\text{R}^6$  は水素、 $\text{C}_1\sim\text{C}_6$  アルキル、 $\text{C}_1\sim\text{C}_6$  アルカノイル、フェニルまたは置換されたフェニルである)

を有する請求項 1 の化合物。

3.  $\text{R}^3$  が OH である、請求項 2 の化合物。

4.  $\text{R}^2$  が  $\text{C}_1\sim\text{C}_6$  アルキルである、請求項 3 の化合物。

5.  $\text{R}^1$  が 4' 位にある、請求項 4 の化合物。

6. (S)-2-(4'-ブロモビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(4'-クロロビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-3-メチル-2-(4'-ニトロビフェニル-4-スルホニルアミノ)-酪酸、

(S)-2-(4'-アミノビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(4'-シアノビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(3',4'-ジブロモビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸ナトリウム塩、

(S)-2-(3'-ブロモビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(4'-ブロモ-2'-フルオロ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(R)-2-(4'-ブロモ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(4'-ブロモ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-プロピオン酸、

(S)-2-(4'-ブロモ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-4-メチル吉草酸、

(S)-2-(4'-メトキシ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(4'-フルオロ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(3'-フルオロ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-3-メチル-2-(4'-トリフルオロメチル-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)酪酸、

2-(4'-ホルミル-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

4'-(1-カルボキシ-2-メチル-プロピルスルファモイル)-ビフェニル-4-カルボン酸、

2-(4'-ヒドロキシメチル-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、および

2-(4'-アミノメチル-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸

から選ばれる請求項1の化合物。

7.  $R^2$  がフェニルまたは置換されたフェニルで置換された  $C_1 \sim C_6$  アルキルである、請求項2の化合物。

8. (S)-2-(4'-ブロモビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-フェニルプロピオン酸または(S)-(4'-イソプロピルビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-フェニルプロピオン酸である、請求項7の化合物。
9.  $R^3$ が $0C_1 \sim C_6$ アルキルである、請求項1の化合物。
10. (S)-2-(4'-ブロモビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸 tert-ブチルエステルである、請求項9の化合物。
11. 請求項1の化合物を希釈剤、担体または賦形剤と混合して含有する医薬処方物。
12. 請求項1の化合物からなるマトリックスメタロプロテイナーゼ阻害剤。
13. 請求項1の化合物を含有する関節炎の治療剤。
14. 請求項1の化合物を含有する再狭窄の治療剤。
15. 請求項1の化合物を含有するアテローム性動脈硬化症の治療剤。